

大好評ノ続演

「情歌物語」

松と花

清まじし世カで展開する周立郎の世界



岡村喬生

山本周五郎

作曲 大中恩 原作 山本周五郎 柳色歌と口演(全九段) 岡村喬生

曲師 クラリネット 磯部周平(第1序) 絵師 舞台後方紗幕上の画集

ピアノ 安田裕子 松久保田珠美 秋浦部和己

チラシ 黒鉄ひろし

6/28(土) 13:15 開演
 イル・フィオーレ 15周年記念
 ルネこだいら(中) 劇場
 全席自由 3,000円

NPOみんなのオペラ
 2008年度公演

伝統和芸で和魂洋才の新モノオペラ

7/6(日) 13:45 開演
 NPOみんなのオペラ本公演
 江東区文化センター
 全席自由 4,000円

新モノオペラ 人情歌物語 松とお秋 '08年再演

嘘アつかねえ - 松

ほたる放生 - お秋

第一幕「松」50分

江戸は賑わいの浅草寺近くのうら寂れた横丁に、夜だけ出る安屋台やなぎ屋。無口な主人・爺さんの安酒を煽り「かかあは、薪さっぽうで打ち据えるのが俺の式だ」と、飲み仲間の、初老で孤独な信吉を相手に、卑屈に気炎を上げる日雇い人足・松。だが信吉が、若い女房に逃げられて世捨て人になったのだ、という独白を聴いた松は、本音で女への不信を語り始める。そして、酔いつぶれた松を、みすぼらしい長屋に担いで行った信吉が見届けたのは、松の意外な素顔だった。

第二幕「お秋」60分

江戸のはずれ洲崎の果てまで、ひも・村治にくら替えさせられる度に巻き上げられてきた遊女・お秋。男前の村次に惚れきったお秋は、通いつめる船頭の藤吉には目向きもしない。だが終に遙か常陸の潮来にくら替えすることを村治に切り出された晩、彼が同じ廓に入れた娘・おせんと同じ屋根の下で寝て睦み声をあげさせ、これからはこの娘で食っていくのだと女主人から知ったお秋は逆上。村次を蛍の沼に誘い、袂に忍ばせた剃刀で殺そうとしたとき、初めて知ったのが男の真心だった。

NPO みんなのオペラ ホームページ <http://www.minna-no-opera.com>

オペラ・ナショナリスト 岡村喬生 / NPO みんなのオペラ・芸術総監督

僕は1960~70年代の20年間ヨーロッパに住み、その7年目から13年間、リンツ、キール、ケルンと、3つの歌劇場の専属第一バス歌手を勤めた。第一バスはバス役の主役だけを歌う歌手。端役では東洋人は専属になれない。オペラは白人の芸術だ。白人の働き場を侵さないからだ。殆どのバス歌手の主なレパートリーを僕は歌った。だが難題人、つまり東洋人だったロシア皇帝ボリス・ゴドノフ役を除き、そのどれもが白人役だった。白人が白人のために創ったオペラに東洋人が入っていく悲哀をいやっというほど味わされた。――

聴く方だって同じこと。「俺たちの国のオペラが欲しい」――その昔、まだ殆どがイタリア語のオペラだけの頃。そういう要求がオペラの宗主国イタリア語圏以外から出てくるのは当然の成り行き。そこで誕生したのが国民オペラだ。――「魔弾の射手」(独)、「ボリス・ゴドノフ」(露)、「ボギーとベス」(米)等、どれもオペラでは後進の白人国のもの。いずれも、自国の作曲家が自国の音楽語法で、自国の言葉で、自国を舞台とした、自国の物語、である。残念ながら、世界のオペラ界で認められた日本国民オペラはまだ出ていない。

そこで創ったのがこの「松とお秋」である。大中恩が和魂洋才で作曲、日本語で、江戸を舞台とした、周五郎・原作、と、上記の国民オペラの全ての規範に当てはまる。そしてこのモノオペラは、日本伝統の話芸を武器としたから移動費を入れるとオーケストラ演奏会の6分の1以下程と安く、大いにヒットの可能性はある。

僕はしつこい。このモノオペラに固執し、少なくとも我が国でヒットするまで、これを磨き続けるつもりである。向うでの歌劇場専属経験から、僕はオペラのナショナリストになったのである！

NPOみんなのオペラ役員		
役職名	氏名	備考【】内は当NPOにおける役割名
理事長	髯尾 世也	新全労済協合理事長、元全労済理事長・連合会長
副理事長	岡村 喬生	バス・バリトン歌手、オペラ演出家、俳優、執筆家【芸術総監督】
特別顧問 (30名)	愛知 和男	衆議院議員、元防衛庁・環境庁長官
	近藤 鉄雄	MINES代表取締役、元労働大臣・経済企画庁長官
	中江 要介	パレエ台本作家、元中国大使
理事 (50名)	入谷 泰生	日本クルーズ客船株式会社社長
	宇野 義弘	合唱指揮者
	江波戸 昭	明治大学名誉教授、理学博士、民族音楽学者
	江守 徹	俳優
	小尾 旭	演三リオンコンサート協会代表取締役
	金子 一也	新松下政経塾研修主担当
	金子タケコ	麻カネゴアルトップ取締役
	神田 謙	演博宣インターナショナル代表取締役
	木頃 泉	真朝日旅行社
	白井 正信	元東京新聞論説委員
	土井 秀文	会社員
	中西 章	歌手
安田 裕子	ピアニスト【事務局長】	
吉田 栄夫	新日本極地研究振興会常務理事、理学博士、元海極越冬隊長	
監事	松尾 清	公認会計士、監査法人トーマツ代表社員

●スタッフ：劇スペース・ゼロ

美術：東原繁 照明：西山秀樹 音響：加藤寿恭 舞台監督：坪根孝

6/28(土) イル・フィオーレ 15周年記念公演

ルネこだいら (中ホール) 13:15 開演 (12:45 開場)

西武新宿線小平駅南口徒歩3分 駐車場なし

主催：イル・フィオーレ (代表・神田道子)

全席自由 定員制：3,000円

チケット前売所：ルネこだいらチケットカウンター
042-346-9000

7/6(日) NPO みんなのオペラ 2008年本公演

江東区文化センター 13:45 開演 (13:15 開場)

地下鉄東西線東陽町1番出口徒歩5分

主催：NPO みんなのオペラ 協力：(財) 江東区地域振興会

マネージメント：ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

全席自由 定員制：4,000円

NPO みんなのオペラサロン会員は3割引(2,800円)

ティアラ友の会会員は1割引(3,600円)

身障者と70歳以上は先着100名1,000円

要予約、当日証明書提示

扱い：ミリオンコンサート協会、江東区文化センター

チケット前売所 (7/6 NPO みんなのオペラ 2008年本公演)

ミリオンコンサート協会 / 03-3501-5638

チケットぴあ / 0570-02-9990

CN プレイガイド / 0570-08-9990

江東区文化センター / 03-3644-8111

東京文化会館チケットサービス / 03-5815-5452

ローソンチケット / 0570-00-0407

NPOみんなのオペラ事務局 / 048-837-7056

ヤマハ池袋店 / 03-3988-2915